

## 【表紙】

【提出書類】	有価証券届出書の訂正届出書
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	2023年 8 月 4 日
【会社名】	ASAHI EITOホールディングス株式会社 (旧会社名 アサヒ衛陶株式会社)
【英訳名】	ASAHI EITO HOLDINGS CO.,LTD. (旧英訳名 ASAHI EITO CO.,LTD.)
【代表者の役職氏名】	代表取締役 星野 和也
【本店の所在の場所】	大阪市中央区常盤町一丁目 3 番 8 号
【電話番号】	0 6 ( 7 7 7 7 ) 2 0 6 7 ( 代表 )
【事務連絡者氏名】	執行役員 経営管理部長 三宅 久史
【最寄りの連絡場所】	大阪市中央区常盤町一丁目 3 番 8 号
【電話番号】	0 6 ( 7 7 7 7 ) 2 0 6 7 ( 代表 )
【事務連絡者氏名】	執行役員 経営管理部長 三宅 久史
【届出の対象とした募集有価証券の種類】	普通株式
【届出の対象とした募集金額】	74,140,128円（注） （注）募集金額は、ASAHI EITOホールディングス株式会社（以下「当社」といいます。）を株式交付親会社、フラグシップス株式会社を株式交付子会社とする株式交付（以下「本株式交付」といいます。）に関して、本株式交付の対価として取得するフラグシップス株式会社の株式数及び本株式交付の株式交付比率を勘案した当社普通株式の交付数に2023年7月31日の株式会社東京証券取引所における当社普通株式の普通取引の終値（以下「東証終値」といいます。）を乗じて算出した金額です。 本募集金額は1億円未満ではありますが、企業内容等の開示に関する内閣府令第2条第5項第2号の金額通算規定により、本届出を行うものであります。
【安定操作に関する事項】	該当事項はありません。
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町 2 番 1 号)

## 1【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

2023年8月1日に提出いたしました有価証券届出書につきまして、記載漏れ及び記載に誤りがございましたのでこれを訂正するため、本有価証券届出書の訂正届出書を提出するものであります。

## 2【訂正事項】

第二部 公開買付け又は株式交付に関する情報

第1 公開買付け又は株式交付の概要

4 公開買付け又は株式交付に係る割当ての内容及びその算定根拠

(2) 株式交付比率の算定根拠等

イ 算定に関する事項

算定の概要

第三部 追完情報

3. 資本金の増減

## 3【訂正箇所】

訂正箇所は、\_\_\_\_\_ 罫で示してあります。

## 第二部【公開買付け又は株式交付に関する情報】

### 第1【公開買付け又は株式交付の概要】

#### 4【公開買付け又は株式交付に係る割当ての内容及びその算定根拠】

##### (2) 株式交付比率の算定根拠等

##### イ 算定に関する事項

##### 算定の概要

##### (訂正前)

T S Aコンサルティングは、前述の通りに当社の株価については、当社の普通株式が東京証券取引所スタンダード市場に上場しており、市場株価が存在し取引市場での流動性も高いことから、本株式交付の対価としてその株式価値を評価する場合、市場株価法により十分に適正な結果が得られると判断したため、市場株価法を採用することとしました。フラグシップスについては非上場会社であることを勘案し、将来の事業活動の状況を評価に反映する為にディスカウントド・キャッシュ・フロー法（以下「DCF法」といいます。）を採用して株式価値の算定を行っております。

フラグシップスの株式価値算定の結果は以下のとおりです。

一株当たり株式価値の算定結果	1,288,546円～1,618,631円
株主価値	128,854,600円～161,863,100円

当社の普通株式1株当たりの株式価値を1とした場合のフラグシップスの普通株式1株に対する株式交付比率の算定結果は以下のとおりです。

	株式交付比率の算定結果
普通株式	1,824

当社の株式算定については市場株価法にて本株式交付に関する当社取締役会の決議日前日（7月31日）の当社の東京証券取引所スタンダード市場における終値（797円）の91%相当額としております。2023年3月15日にお知らせして実施致しました簡易株式交付による日本ライフエレベーション株式会社の子会社化においては直近1か月間、3か月間及び6か月間の株価終値の単純平均値を基に、当社の株式価値を算出しておりましたが、直近10日間での当社の株価を考慮した場合に上記直近の株価終値の単純平均値は1か月間（739円）、3か月間（644円）、6か月間（663円）となっており、これらとの乖離もあまり大きいものでないと考えます。また当社株式の希薄化率も考慮した場合には、直近の株価となる本株式交付に関する当社取締役会の決議日前日の終値（797円）を基準にした株式算定が最も合理性があるものと判断しました。これにより希薄化率は2.37%となり、当社の株主の皆様への影響も極力抑えられたものと考えております。

（訂正後）

T S Aコンサルティングは、前述の通りに当社の株価については、当社の普通株式が東京証券取引所スタンダード市場に上場しており、市場株価が存在し取引市場での流動性も高いことから、本株式交付の対価としてその株式価値を評価する場合、市場株価法により十分に適正な結果が得られると判断したため、市場株価法を採用することとしました。フラグシップスについては非上場会社であることを勘案し、将来の事業活動の状況を評価に反映する為にディスカунテッド・キャッシュ・フロー法（以下「D C F法」といいます。）を採用して株式価値の算定を行っております。

フラグシップスの株式価値算定の結果は以下のとおりです。

一株当たり株式価値の算定結果	1,288,546円～1,618,631円
株主価値	128,854,600円～161,863,100円

当社の普通株式1株当たりの株式価値を1とした場合のフラグシップスの普通株式1株に対する株式交付比率の算定結果は以下のとおりです。

	株式交付比率の算定結果
普通株式	1,824

当社の株式算定については市場株価法にて本株式交付に関する当社取締役会の決議日前日（7月31日）の当社の東京証券取引所スタンダード市場における終値（797円）としております。直近の株価終値の単純平均値は1か月間（739円）、3か月間（644円）、6か月間（663円）となっており、これらとの乖離もあまり大きいものでないと考えます。また当社株式の希薄化率も考慮した場合には、直近の株価となる本株式交付に関する当社取締役会の決議日前日の終値（797円）を基準にした株式算定が最も合理性があるものと判断しました。これにより希薄化率は2.31%となり、当社の株主の皆様への影響も極力抑えられたものと考えております。

### 第三部【追完情報】

下記項目を追記しております。

#### 3. 資本金の増減

「第四部 組込情報」の第72期有価証券報告書に記載の資本金は、当該有価証券報告書提出日（2023年2月28日）以降、本有価証券届出書提出日（2023年8月1日）までの間において、以下の通り変化しています。

年月日	発行済株式総数 増減数（株）	発行済株式総数 残高（株）	資本金増減額 （千円）	資本金残高 （千円）	資本準備金増 減額（千円）	資本準備金残 高（千円）
2023年4月5日 （注）1.	147,645	3,917,345	45,917	2,031,608	45,917	628,358
2023年6月1日～ 2023年6月30日 （注）2.	101,700	4,019,045	20,227	2,051,835	20,227	648,585

（注）1. 簡易株式交付による増加であります。

2. 2023年6月1日から2023年6月30日までの間に新株予約権の行使により、101,700株の株式が発行され、資本金と資本準備金が、それぞれ20,227千円増加しております。